

2学期の漢字

たしかめ 18

87	86	85	84	83
夫	積	協	付	願
夫も科学者のキュリー夫人。	雪が降り積もり、積雪量が過去最高。	赤い羽根共同募金に協力する。	雑誌の付録に付いていたおもちゃ。	祈願とは、願いを込めて祈ること。

たしかめ 19

92	91	90	89	88
郡	群	標	議	以
町や村が集まって郡になる。	砂糖に群がる蟻の大群。	目標に向かって努力する。	会議を開いて話し合う。	駅まで五分以内で行ける。

たしかめ 20

97	96	95	94	93
浴	徒	富	管	官
海水浴、泳いだ後でシャワーを浴びる。	駅から徒歩で高校に通う生徒たち。	豊富な石油資源で富を築く。	水道管、水を通す管のこと。	警察官が市内を見回る。

たしかめ 21

102	101	100	99	98
卒	票	挙	灯	街
六年間の学びを終えて卒業式。	選挙の開票結果を聞く。	手を挙げることを挙手という。	灯台の灯を頼りに船が進む。	街角を明るく照らす街灯。

たしかめ

18

87	86	85	84	83
おっとも かがくしやの キュリーふじん。	ゆきが 降りつもり、 せきせつりようが 過こさいこう。	あかいはねきようどう募きんに きようりよくする。	雑誌のふろくについていたおもちゃ。	祈がんとは、ねがいを込めて 祈ること。

たしかめ

19

92	91	90	89	88
まちやむらがあつまってぐんになる。	砂糖にむらがる 蟻のたいぐん。	もくひようにむかつて どりよくする。	かいぎをひらいてはなしあう。	えきまでごふん いないでいける。

たしかめ

20

97	96	95	94	93
かいすいよく、およいだあとで シャワーをあびる。	えきからとほでこうこうにか ようせいとたち。	豊富なせきゆ資源で とみを築く。	すいどうかん、みずをと おすくだのこと。	警さつかんが しないをみまわる。

たしかめ

21

102	101	100	99	98
ろくねんかんのまなびを おえてそつぎようしき。	せんきよのかいひようけつ かをきく。	てをあげることを きよしゆという。	とうだいのひを頼りに ふねがすすむ。	まちかどをあかるく 照らすがい灯。

たしかめ

22

107	106	105	104	103
給	争	戦	沖	貨
今日の給食は何だろう。	一着を争い、チームで競争。	戦争は、国と国との戦いだ。	海の沖の方に船が見える。	荷物を積んだ貨物列車が通り過ぎた。

たしかめ

23

112	111	110	109	108
兵	軍	泣	帯	飯
戦で戦う人を兵隊という。	軍手をはめて花壇の花植え。	号泣する選手を見てもらい泣き。	赤みを帯びた土ばかりの砂漠地帯。	昼飯は、ご飯を握った握り飯。

たしかめ

24

117	116	115	114	113
底	浅	景	輪	隊
船の底に穴が開き、海底に沈んだ。	練習を始めてまだ日が浅い。	景気よく花火が上がり、美しい景色。	輪が五つ、五輪のマークはオリンピック。	鼓笛隊が隊列を組んで行進する。

たしかめ

25

122	121	120	119	118
差	置	衣	児	散
交差点の信号が赤になる。	置く位置をよく確かめて設置する。	もう夏だ、涼しい衣服に衣替え。	児童会で遊びの約束を決める。	落ち葉 散る公園の中を散歩する。

たしかめ

22

107	106	105	104	103
きようのきゆうしよくはなんだろう。	いつちやくをあらそい、チームできようそう。	せんそうは、くにとくにとのたたかいだ。	うみのおきのほうにふねがみえる。	にもつをつんだかもつれっしやがとおり過ぎた。

たしかめ

23

112	111	110	109	108
いくさでたたかうひとをへい隊という。	ぐんてをはめてか壇のはなうえ。	ごうきゆうするせんしゆをみてもらいなき。	あかみをおびたつちばかりの砂漠ちたい。	ひるめしは、ごはんを握った握りめし。

たしかめ

24

117	116	115	114	113
ふねのそこに穴があき、かいていに沈んだ。	れんしゆうをはじめてまだひがあさい。	けいきよくはなびがあがり、うつくしいけしき。	わがいつつ、ごりんのマークはオリンピック。	鼓できたいがたいれつをくんでこうしんする。

たしかめ

25

122	121	120	119	118
こうさてんの信ごうがあかになる。	おくいちをよく確かめて設ちする。	もうなつだ、涼しいいふくにころも替え。	じどうかいであそびのやくそくをきめる。	おちばちるこうえんのなかをさんぽする。

127	126	125	124	123
塩	養	栄	単	節
食塩を入れすぎて塩 ^{から} 辛い。	栄養をしつかり摂 ^と って、体力を養 ^う う。	昔は市場で栄えていた町。	単語の意味を辞書で調べ ^る 。	イスの高さを調節 ^{する} 。

132	131	130	129	128
祝	照	省	産	無
祝日は、国で決めたお祝いの日。	室内を明るく照らす照明器具。	一部分を省 ^{りやく} くことが省略 ^{りやく} です。	赤ちゃんを産 ^む ことを出産 ^{いう} 。	水は無色で色 ^が 無い。

137	136	135	134	133
不	残	鹿	熊	試
交通が不便な土地に住 ^む 。	残飯が残 ^ら ぬように全部食 ^べ た。	鹿の頭には立 ^ぱ 派 ^な 角 ^{がある} 。	山中に熊 ^が いて悲鳴 ^を 上 ^げ た。	実力を試 ^し てみるのが試験 ^{です} 。

142	141	140	139	138
老	未	満	低	冷
年老いて目も耳も老 ^化 した。	未だに完成 ^し ない未 ^{完成} のビル。	月が満 ^ち 、今夜は満 ^月 、十五夜 ^だ 。	低 ^い 声 ^な ので低 ^音 のパート ^を 歌 ^う 。	冷蔵 ^{ぞう} 庫 ^に 麦茶 ^を 入 ^れ て冷 ^{たく} 冷 ^{やす} 。

たしかめ

26

1 2 7	1 2 6	1 2 5	1 3 4	1 2 3
しよくえんをいれすぎてしお辛 <small>から</small> い。	えいようをしつかり撰 <small>と</small> つて、たいりよくをやしなう。	おかしはいちばでさかえていたまち。	たんごのいみをじしよでしらべる。	イスのたかさをちようせつする。

たしかめ

27

1 3 2	1 3 1	1 3 0	1 2 9	1 2 8
しゆくじつは、くにできめたおいわいのひ。	しつないをあかるくてらすしやうめいきぐ。	いちぶぶんをはぶくことがしやう略 <small>りやく</small> です。	あかちゃんをうむことをしゅっさんという。	みずはむしよくでいろがない。

たしかめ

28

1 3 7	1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3
こうつうがふべんなとちにすむ。	ざんぱんがのこらぬようにぜんぶたべた。	しかのあたまにはりっ派 <small>は</small> なつがある。	さんちゆうにくまがいてひめいをあげた。	じつりよくをためしてみるのがしけんです。

たしかめ

29

1 4 2	1 4 1	1 4 0	1 3 9	1 3 8
としおいてめもみみもろうかした。	いまだにかんせいしないみかんせいのビル。	つきがみち、こんやはまんげつ、じゆうごやだ。	ひくいこえなのでていおんのパートをうたう。	れい蔵 <small>ぞう</small> におぎちやをいれてつめたくひやす。

たしかめ

30

147	146	145	144	143
辺	城	改	陸	良
辺の長さが全て等しい正方形。	湖に浮かぶ城といわれた彦根城。	悪いところを改め、良いものに改良する。	飛行機が空港に着陸した。	良いことをしようとする心が良心。

たしかめ

31

152	151	150	149	148
念	側	松	井	菜
試合に負けて残念だ。	右側の側面のドアを開けてみた。	門松は、松竹梅を飾ります。	福井県は、恐竜の化石で有名だ。	菜園に菜の花が咲いていた。

たしかめ

32

157	156	155	154	153
周	静	賀	固	縄
校舎の周りを走って一周する。	静物画、心静かに眺めます。	開校百周年を祝う祝賀会。	水が凍って固くなり、固体になった。	沖縄県で縄文時代の土器発見。

たしかめ

33

162	161	160	159	158
唱	札	季	梅	孫
繰り返し唱えて暗唱、九九練習。	表札は、名前を書いた札のこと。	春夏秋冬、日本の四季は美しい。	梅林に咲く梅の花、いい香り。	孫生まれ、子孫繁栄、おめでたい。

たしかめ

30

1 4 7	1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3
へんのながさがすべてひとしいせいほうけい。	みずうみに浮かぶしろといわれた彦ねじょう。	わるいところをあらため、よいものに かいらようする。	ひこうきがくうこうにちやくりくした。	よいことをしようとするところがりようしん。

たしかめ

31

1 5 2	1 5 1	1 5 0	1 4 9	1 4 8
しあいにまけてさんねんだ。	みぎがわのそくめんのドアをあけてみた。	かどまつは、しょうちく梅を飾ります。	ふくいけんは、恐竜のかせきでゆうめいだ。	さいえんになのはなが咲いていた。

たしかめ

32

1 7 8	1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3
こう舎のまわりをはしっていっしゅうする。	せいぶつが、こころしずかに眺めます。	かいこうひやくしゅうねんをいわうしゆくがかい。	みずが凍ってかたくなり、こたいになった。	おきなわけんでじょうもんじだいのどきはつけん。

たしかめ

33

1 6 2	1 6 1	1 6 0	1 5 9	1 5 8
繰りかえしとなえてあんしょう、くくれんしゅう。	ひようさつは、なまえをかいたふだのこと。	しゅんかしゅうとう、にほんのしきはうつくしい。	ばいりに咲くうめのはな、いい香り。	まごうまれ、しそん繁えい、おめでたい。

167	166	165	164	163
令	兆	億	府	岡
船長の命令は、絶対 ^{ぜっ} 守ること。	一億の一万倍が一兆です。	大金持ちの億万長者。	大阪府・京都府、どちらも近畿 ^き 地方。	静岡県はお茶で有名。

1 6 7	1 6 6	1 6 5	1 6 4	1 6 3
せんちようのめいれいは、絶 ^ぜ たいまもること。	いちおくのいちまんばいがいっちようです。	おおがねもちのおくまんちようじゃ。	おお ^さ 阪 ^か ふ・きようとふ、どちらもきん ^き 畿 ^き ちほう。	しずおかけんはおちやでゆうめい。